

INTERVIEW 社会的価値創造に挑む社員

宇宙を「社会インフラ」へ、
日本の宇宙産業のサプライチェーン構築

武田: 衛星ブロードバンド通信や防災・安全保障領域での活用等、宇宙利用の需要が拡大する中、日本では宇宙空間への輸送手段を海外に依存していることによる機会損失が課題となっています。三井住友銀行は2025年7月、インターステラテクノロジズへ出資し、サプライチェーン構築支援で提携しました。不確実性の高い領域でもリスクを取る意義を信じ、出資に至りました。その根底には、宇宙産業の発展を支えるだけでなく、優れた技術を持ちながら後継者不足に直面する中小企業を成長領域につなげたいという思いがありました。

佐藤: 将来の基幹産業として宇宙ビジネスを育成し、次の豊かな社会を創造するため、SMBCグループは何をすべきかという問題意識から検討を始めました。三井住友銀行として初の宇宙関連スタートアップへの出資であり、既成概念の延長では整理できない案件の意義やリスクについて、関連部署と議論を重ね、社会的価値と潜在的リスクを多角的に分析しました。新たな挑戦には新たなリスクは避けられません。新たな挑戦に伴うリスクを見極めながら、「攻め」を支える「守り」の視点を大切に、宇宙産業の育成を通じた社会的価値の創造に取り組めます。



三井住友銀行
スタートアップ推進部
グループ長

武田 悠紀



三井住友銀行
社会的価値創造推進部
ダイレクター

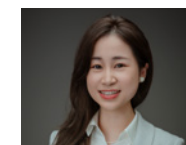
佐藤 裕人

信用の壁に直面する中国農村部の人々に
公正な資金調達の機会を提供

魏: 中国の農村部では、依然として農民や女性、小規模事業者が正規の金融サービスを利用しにくいという課題があります。この解決に強い使命感を持って取り組む現地企業と共同し、「共同信託」の手法を用いて、同社が持つ農村部へのローン債権を裏付けとする金融商品を組成し、機関投資家等から資金を調達する仕組みを構築しました。

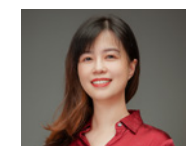
張: 新たな商品、かつ裏付け資産に多種多様なローンを含むため、リスク予測や管理が極めて複雑でした。さまざまな関係者と連携し解決策を見出し、約6億元を農村部に届けました。グループ全体のポートフォリオから見れば微々たるものですが、中国農業セクターへの本格的な投資拡大への第一歩となりました。

常: 金融の真価は、資金提供だけではなく、データや技術、そして信頼とリスク管理の知見を組み合わせ、お客さまの成長につながるような仕組みを構築し、社会的価値を向上させていくことに考えています。



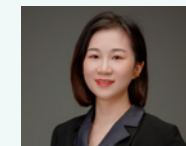
三井住友銀行(中国)有限公司
Investment Banking Dept.

魏 李文



三井住友銀行(中国)有限公司
Investment Banking Dept.

張 琼雯



三井住友銀行(中国)有限公司
Investment Banking Dept.

常 彭斯琦



詳細はこちらをご覧ください。

https://www.smfg.co.jp/sustainability/social_value/interview/2508.html



詳細はこちらをご覧ください。

https://www.smfg.co.jp/sustainability/social_value/interview/2505.html